

平成25年に閉場の公衆浴場「富士之湯」(岡谷市大柴町) 写真:岡谷市大柴町 増沢 明弘氏 提供
撮影年月日:左=平成25年4月28日、中上=左写真と同日、中下=平成25年4月30日、右=平成25年6月10日

市内公衆浴場数（軒）の推移

昭和 5 年	19	公衆浴場廃業の理由
昭和10 年	21	① 家庭風呂の増加
昭和32 年	16	② 施設の老朽化、 燃料の高騰、人手不足
昭和40 年	19	③ 物価統制令の規制により、 入浴料金の自由な値上げが できない。
昭和49 年	9	
昭和51 年	8	④ 近隣の温泉地の低入浴料金
平成16 年	4	⑤ 高齢者が無料で利用できる 社会福祉センターの利用者 が増加
平成17 年	3	

平成17年の3軒：富士之湯、岡谷浴場、東の湯

地図記号ひとロメモ



上諏訪温泉の代表的な源泉の「セツ釜源泉」地図記号は  ところが、現在の温泉記号は  実はこの地図、平成元年版2.5万分の1「岡谷市全図」(一部)で、 は平成14年からの使用だからです。

国土地理院によれば、温泉・鉱泉の地図記号は、泉源の湯壺と湯けむりを組み合わせたもので、明治以来いく度も形を変えてきました。



明治17年



明治24年



大正6年



昭和30年



平成14年

← 出典:「銭湯関係者聞き取り調査」p42.43
2005(平成17)年 岡谷市教育委員会生涯学習課

岡谷温泉の利用



「ロマネット」玄関前のモニュメント

「岡谷温泉誕生の碑」
温泉掘削者
野口謙一氏を顕彰



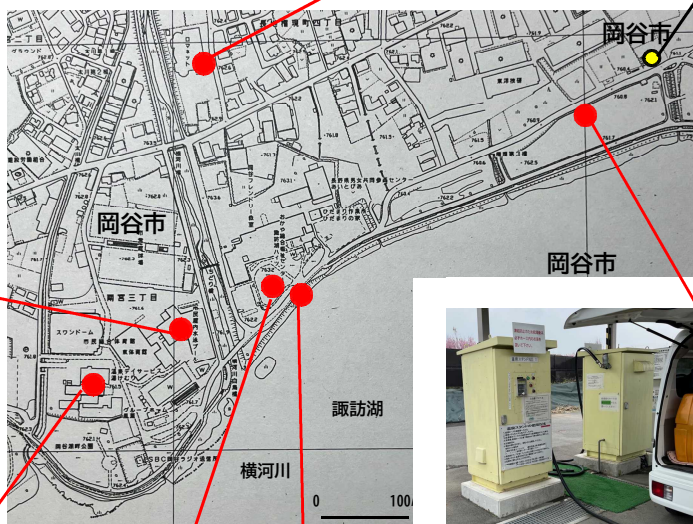
「岡谷健康福祉施設 ロマネット」

一日あたり利用者数(人)
平成30年度 851.1
令和2年度 584.0
令和4年度 724.9

「令和2年度・4年度 指定管理者の
適正管理に関する調査表」より



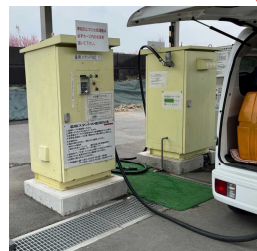
「岡谷市民屋内水泳プール」



岡谷温泉源泉
ここから各施設に分湯



「温泉サービス 湯けむり」



「岡谷温泉スタンド」

100円/200リットル
150円/300リットル
専用メタルを投入して
ホースで給湯

地図：2020(令和2)年 岡谷市都市計画基本図 1/2500 (部分複写)



「おかや総合福祉センター(諏訪湖ハイツ)」(屋内浴場と足湯)



足湯は遠足途中の小学生にも人気

写真8枚：2024年 市史編さん室撮影